



Access で SQL Server を利用します。ODBC の設定では、どの DSN を選択すれば良いのでしょうか？



DSN とは、Data Source Name の略で Access などのクライアントツールから ODBC の設定を呼び出す時の、設定名称になります。

DSN にはユーザー DSN、システム DSN、ファイル DSN の 3 種類があります。
それぞれの特徴です。

ユーザー DSN

ログインしているユーザーのみが利用する場合は、こちらを選択します。
セキュリティ面を考慮すると、通常はユーザー DSN の設定が良いのではないのでしょうか。

システム DSN

対象となる PC の全ユーザーが利用できます。ただし、登録するには Administrator 権限が必要です。
対象となる PC が共有 PC で、他のユーザーもこの ODBC 接続を使う場合は、こちらを選択します。

ファイル DSN

セキュリティ面で、最もゆるいのがこの DSN になります。
ファイル DSN を作成すると DSN の設定情報がファイルとして作成されるため、同じ設定を他の PC で実施したいときには、作成した dsn ファイルをコピーするだけで良いので、とても簡単に複数の PC への設定が可能です。
ただし、コピーしてしまえば、簡単にアクセスできてしまうので、接続対象となるデータベースに対してファイヤーウォールを細かく設定するなどのセキュリティ面での対策を考慮する必要があります。

参考サイト : <http://mgate.info/db/sqlserver/861/>